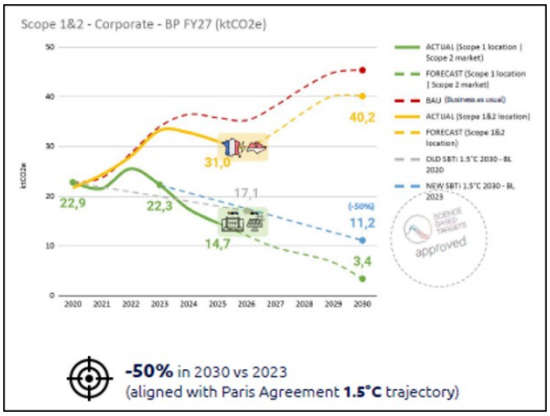
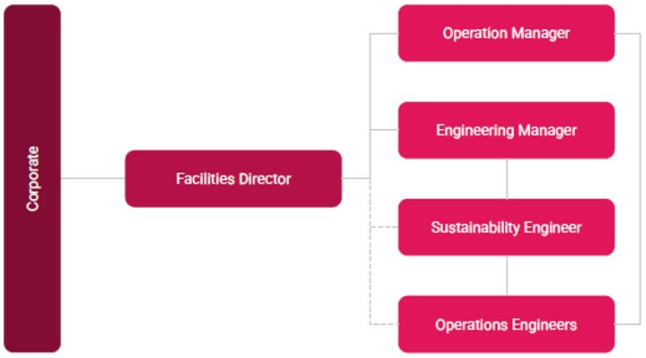
会議

令和８年度 AJEEP CNプロジェクトスタートアップミーティング(シンガポール)を実施しました

【事業概要】 一般財団法人省エネルギーセンター（ECCJ）は、資源エネルギー庁の委託を受けてASEAN多国間省エネ人材育成協力（AJEEP）の事業を実施しております。2025年10月にCN診断を実施したシンガポールの半導体製造メーカー(SMS)において、本年2月の中間チェックミーティングを経て、スタートアップミーティングを10月15日にオンラインで実施し、中長期計画の上司承認を得ました。



中長期計画の見直し



CNプロジェクト推進体制

AJEEP活動の一環として、2025年10月にSMSにおいてCN診断を実施しました。本年2月に中間チェックミーティングを実施し、最終段階に当たるスタートアップミーティングを10月15日にオンラインで実施して、中長期計画の討議および上司承認を確認しました。SMSでCN診断を実施した担当者から中長期計画および現在の課題が説明されました。

(1) 2030年度のCO2削減目標は2013年比50%の削減（Scope１＆２）
(2) ECCJ提案の11項目のうち、8項目について改善施策を検討中。
(3)本年度は、エアーコンプレッサーの台数制御、AIによるチラー最適化を実施しました。
(4) ECCJ提案のペロブスカイト太陽セルは火災の危険性が高いため、不採用としました。
(5) 2027年度は、ヒートポンプの導入、倉庫のエネルギー削減、冷却塔の更新などを計画中です。
(6) クリーンルームの設定温度の変更は、全ての製品の品質保証ができないため、不採用としました。
(7) 2028年度は、ECCJからの提案のひとつである、太陽熱温水器の導入を計画しています。
(8) 工場長をリーダーとするCNプロジェクトの推進体制を構築しました。必要に応じて、シンガポール国家環境庁(NEA)、ASEANエネルギーセンター (ACE)、ECCJがオブザーバー参加し、支援を継続していきます。
(9) 中長期計画が上司により承認され、実質的にCNプロジェクトがスタートしました。

本事業における産業分野での3件目のCNプロジェクトが開始されました。AJEEPスキーム５での直接的な活動は、本会議をもって終了します。今後は年1回の頻度でフォローアップミーティングを実施していく予定で、SMS、NEA、ACEとも良好な関係を継続し、CNプロジェクトの推進・日本企業への裨益に貢献していきます。

＊AJEEP：ASEAN－JAPAN Energy Efficiency Partnership
専門家派遣と受入研修を通じてASEAN地域の省エネ人材を育成するプログラム